

小山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	人間と科学 I（経済学）	
科目基礎情報							
科目番号	0047			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	物質工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	土屋 政憲						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現代経済の特徴が理解し、その概略について説明でき且つ問題の抽出ができる。る			現代経済の特徴が理解し、その概略について説明できる		現代経済の特徴が理解し、その概略について説明できない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ①							
教育方法等							
概要	現代経済社会の意義を認識できるよう、典型的な経済原論（経済学入門）の授業展開である。時間の関係からミクロ経済学の概要が中心となる。						
授業の進め方・方法	口述中心であるが、経済トピックをできるだけ取り上げ、授業中でディバートができるようにした。						
注意点	ディバートを活発化するため日々の社会事象・出来事に問題意識をもって見分してもらいたい。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	経済社会の発展		左記内容を理解する		
		2週	資本主義経済		左記内容を理解する		
		3週	社会主義経済		左記内容を理解する		
		4週	国民所得と経済成長		左記内容を理解する		
		5週	市場機構		左記内容を理解する		
		6週	消費者の行動（1）		左記内容を理解する		
		7週	消費者の行動（2）		左記内容を理解する		
		8週	予算の制約		左記内容を理解する		
	2ndQ	9週	効用と無差別曲線（1）		左記内容を理解する		
		10週	効用と無差別曲線（2）		左記内容を理解する		
		11週	企業の行動（1）		左記内容を理解する		
		12週	企業の行動（2）		左記内容を理解する		
		13週	企業の生産技術		左記内容を理解する		
		14週	生産要素投入量の決定		左記内容を理解する		
		15週	企業の費用構造		左記内容を理解する		
		16週	定期試験		左記内容を理解する		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0